

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |                                                      |
|---------------|------------------------------------------------------|
| 事業名           | 東信州広域連携による新産業創出に向けた人材育成、情報発信事業                       |
| 事業主体<br>(連絡先) | 東信州次世代産業振興協議会<br>(事務局：上田市商工課 0268-23-5396)           |
| 事業区分          | 6 産業振興、雇用拡大に関する事業 オ その他の地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 |
| 事業タイプ         | ソフト                                                  |
| 総事業費          | 2,803,604円 (うち支援金：2,240,000円)                        |

### 事業内容

1. 企業の人材育成 (若手・中核・技術・経営層)  
各分野での技術動向や戦略の立案手法及び実務的なセミナーなどを階級別に講演会・セミナー形式で行い、次世代産業の創出に向けて、土台作りを行う。
2. 保有技術の産学連携による付加価値化、高度化  
企業の新製品・新技術発表及び大学の研究シーズ発表を講演会形式で行うとともに展示ブースにて、実際に見学してもらうことで、産産・産学連携促進を行う。
3. 多言語による広域産業情報のHPやパンフレットでの情報発信  
HP (URL <http://higashishinshu-ngic.com>) 及びパンフレット作成を行うことで情報発信に努めた。



【保有技術の産学連携による付加価値化、高度化事業】  
パートナーフォーラム様子

### 【目標・ねらい】

- ①次世代産業の創出への土台作り
- ②職層別によるレベル向上
- ③産産・産学連携の強化
- ④東信州地域の知名度向上

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 企業の人材育成 (若手・中核・技術・経営層)  
参加目標の800名から実績910名の方に参加頂いたことから、次世代産業の創出に向けた土台づくりを着実に進めることが出来たと考えている。
2. 保有技術の産学連携による付加価値化、高度化  
実績企業数/139社、実績来場者数/280名と多くの方に参加頂き、産産・産学連携のマッチングの場及び企業の受発注を広げる場として、効果があったと考える。
3. 多言語による広域産業情報のHPやパンフレットでの情報発信  
国土交通省から取材を受け、稼げる国土事例集に当該取組を掲載していたなど、取組及び事業周知に大きな成果があった。

### ※自己評価 【A】

【理由】  
人材育成事業については、目標値に比べ110名の増加が見込まれたことや国土交通省の稼げる国土事例集に掲載頂いたことから

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本支援金を活用したことで、東信州次世代産業振興協議会の周知が多く企業の行われ、協議会の事業に参加頂き、次世代産業の創出に向けた取り組みの土台作りが出来たと考える。  
来年度は、分野別勉強会の立ち上げやグローバル人材育成及び中核企業のネットワーク事業など様々な事業展開を図ることで、次世代産業の創出に繋げていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある